

# 5. 図形と証明

## ステップ 1

仮定と結論

あることがら「ならば、である。」という形で表されるとき、の部分**仮定**、の部分**結論**という。

**ポイント** 「ならば、である。」  
仮定 結論

### 基本パターン 1

▼ 次のことがらの仮定と結論を書きなさい。

1)  $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$  ならば、 $\angle A = \angle D$  である。

仮定  <sup>ア</sup> , 結論  <sup>イ</sup>

2) 三角形の内角の和は  $180^\circ$  である。

→ 三角形 ならば、内角の和は  $180^\circ$  である。

仮定  <sup>ウ</sup> , 結論  <sup>エ</sup>

**参考** 「ならば、」は「のとき、」と書くこともある。

「ならば、である。」の形に書きかえよう

### トライ 1

次のことがらの仮定と結論を書きなさい。

①  $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$  ならば、 $AB = DE$  である。

② 6 の倍数は偶数である。

## ステップ 2

定理と証明

すでに成り立つことがわかっていることがら

- あることがらが成り立つわけを、それまでに学んだ性質を根拠にして示すことを**証明**という。
- それまでに学んだ性質で証明されたことがらのうち、証明の根拠によく使われる重要なものを**定理**という。

### ポイント

定理と証明

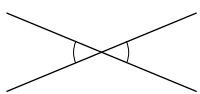
【仮定】 ———— 証明 ————> 【結論】

与えられたヒント(仮定)をもとにして、理由(根拠)をはっきりと書き、知りたいことがら(結論)を導くこと

### 基本学習 ———— 証明の根拠によく使われる定理 ————

#### 対頂角の性質

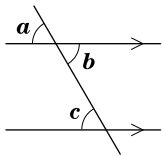
㉓ 対頂角は等しい。



#### 平行線の性質

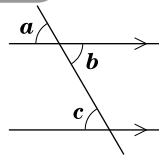
㉔ 2 直線が平行ならば、同位角や  は等しい。

$\angle a = \angle c$   $\angle b = \angle c$



#### 平行線になるための条件

㉕  <sup>イ</sup>  $\angle a = \angle c$   $\angle b = \angle c$  が錯角が等しければ、2 直線は平行である。



#### 三角形の内角・外角の性質

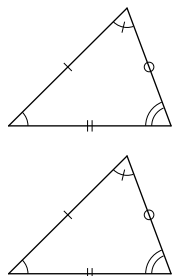
㉖ 三角形の内角の和は  <sup>ウ</sup>  $^\circ$  である。

㉗ 三角形の1つの外角は、それと隣り合わない2つの内角の和に等しい。



#### 合同な図形の性質

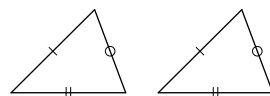
㉘ 合同な図形の対応する辺の長さや角の大きさは等しい。



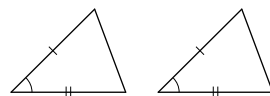
#### 三角形の合同条件

2つの三角形は、次の条件のいずれかが成り立てば合同である。

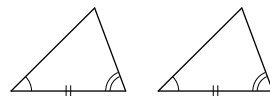
㉙  <sup>イ</sup> がそれぞれ等しい。



㉚ 2 辺と  <sup>ウ</sup> がそれぞれ等しい。



㉛ 1 辺と  <sup>エ</sup> がそれぞれ等しい。



答え **基本** → <sup>ア</sup>  $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$  <sup>イ</sup>  $\angle A = \angle D$  **基本学習** → <sup>ア</sup> 錯角 <sup>イ</sup> 同位角 <sup>ウ</sup>  $180$  <sup>エ</sup> 3 辺 <sup>オ</sup> その間の角 <sup>カ</sup> その両端の角 <sup>キ</sup> 三角形 <sup>ク</sup> 内角の和は  $180^\circ$

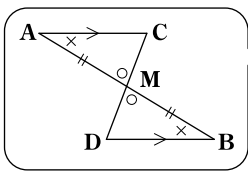
## トライ②

右下の図で、 $AC \parallel DB$ , 点MはABの中点ならば、 $MC = MD$ であることを次のように証明した。

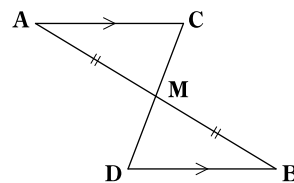
証明の根拠となることばを、前ページの基本学習①～⑤より選び、〔 〕に記号を書きなさい。

なぜ等しいのか？なぜ合同になるのか？  
その理由のこと

【証明】  $\triangle MAC$  と  $\triangle MBD$  において



$MA = MB$ .....	仮定
$\angle AMC = \angle BMD$ .....	⑦〔 〕
$\angle MAC = \angle MBD$ .....	④〔 〕
したがって、 $\triangle MAC \equiv \triangle MBD$ .....	⑤〔 〕
これより、 $MC = MD$ .....	①〔 〕

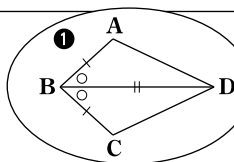
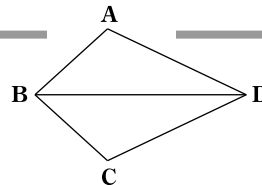


## ステップ③ 三角形の合同の証明

線分の長さや角の大きさが等しいことを証明するときには、三角形の合同を根拠として使う場合が多い。

### 基本パターン②

▼ 右の図で、 $AB = CB$ ,  $BD$  は  $\angle ABC$  の二等分線 のとき、 $\triangle ABD \equiv \triangle CBD$  であることを証明しなさい。



【証明】  $\triangle ABD$  と  $\triangle CBD$  において、

仮定より、	$AB =$ <input type="text"/>	…①
	$\angle ABD = \angle$ <input type="text"/>	…②
共通	な辺だから、 $BD = BD$	…③

①, ②, ③より、 がそれぞれ等しいから、

$\triangle ABD \equiv \triangle$

### ポイント

#### 三角形の合同の証明の進め方

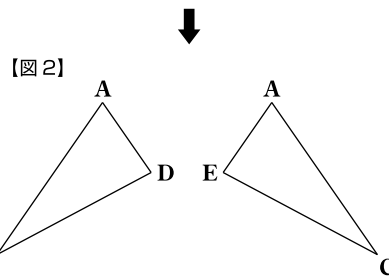
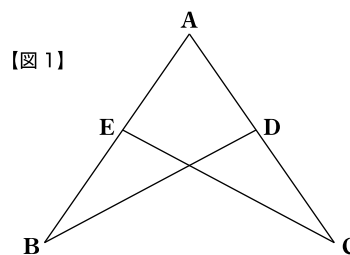
- 等しい辺や角には、図の中に同じ印をつける。
- 証明したい2つの三角形を示す。
- 等しい辺や角を式で表し、その理由(根拠)を書く。
- 三角形の合同条件を書く。
- 結論を書く。

## トライ③

右の図1で、 $AB = AC$ ,  $\angle ABD = \angle ACE$  ならば、 $BD = CE$  である。

これについて、次の問いに答えなさい。

- 仮定と結論を書きなさい。
- 右の図2の中に、等しい辺や角を見つけ、同じ印をつけなさい。
- このことを証明しなさい。



【証明】  $\triangle ABD$  と  $\triangle$   において

仮定より、	$AB =$ <input type="text"/>	…①
	$\angle ABD = \angle$ <input type="text"/>	…②
共通な角だから、	$\angle BAD = \angle$ <input type="text"/>	…③

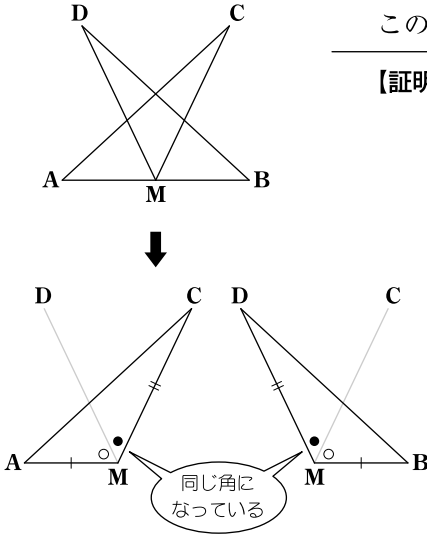
①, ②, ③より、 がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABD \equiv \triangle$

したがって、合同な図形の対応する  の長さは等しいから、 $BD =$

答え 基本2 ⑦ CB ④ CBD ⑤ 2辺とその間の角 ① CBD

発展パターン 1

▼ 左の図で、点Mは線分ABの中点で、 $\angle AMD = \angle BMC$ 、 $MC = MD$ である。このとき、 $\triangle AMC \equiv \triangle BMD$ であることを証明しなさい。



【証明】  $\triangle AMC$  と  $\triangle BMD$  において、

仮定より、 $AM =$   ...①、 $MC =$   ...②

また、 $\angle AMC = \angle AMD + \angle DMC$

$\angle BMD = \angle BMC + \angle$

**ポイント**  
どちらも同じ大きさの角をたしていることを表している。  
○ + ●

仮定より、 $\angle AMD = \angle BMC$  だから、

$\angle AMC = \angle$   ...③

①、②、③より、 がそれぞれ等しいから、

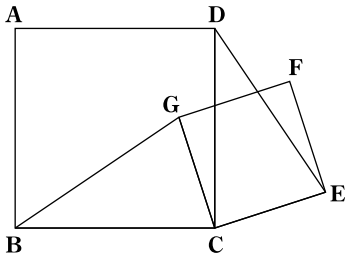
$\triangle AMC \equiv \triangle BMD$

トライ 4

下の図のように、正方形 ABCD と正方形 CEFG がある。このとき、 $\angle CBG = \angle CDE$  である。図2の中に、等しい辺や角に同じ印をつけ、 $\triangle BCG \equiv \triangle DCE$  となることを利用して、このことを証明しなさい。

正方形の4つの辺は等しく、1つの角は  $90^\circ$  である

【図1】



【証明】  $\triangle BCG$  と  $\triangle$   において、

仮定より、2つの正方形の4辺はそれぞれ等しいから、

$BC =$   ...①、 $CG =$   ...②

また、正方形の1つの角は  $90^\circ$  だから、

$\angle BCG = \angle BCD - \angle GCD = 90^\circ - \angle GCD$

$\angle DCE = \angle GCE - \angle GCD =$    $- \angle GCD$

よって、 $\angle BCG = \angle$   ...③

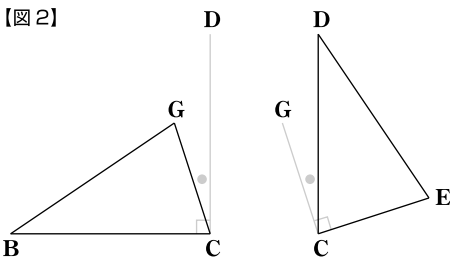
①、②、③より、 がそれぞれ等しいから、

$\triangle BCG \equiv \triangle$

したがって、合同な図形の対応する  の大きさは等しいから、

$\angle CBG = \angle$

【図2】



答え  発展1  BM  MD  DMC  
 BMD  2辺とその間の角

練習問題

たくさん解いて、解き方を工夫したり、問題に慣れよう！

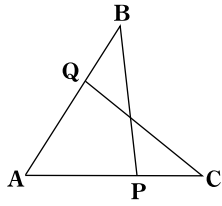
1 次のことからの仮定と結論を書きなさい。 **基本1**

- ①  $\triangle ABC \equiv \triangle PQR$  ならば、 $\angle A = \angle P$  である。
- ②  $x$  が6の倍数ならば、 $x$  は3の倍数である。
- ③  $a = b$ 、 $b = c$  のとき、 $a = c$  である。
- ④  $l \parallel m$ 、 $m \parallel n$  であるとき、 $l \parallel n$  である。
- ⑤ 正三角形の3つの角は等しい。
- ⑥ 合同な三角形は面積が等しい。

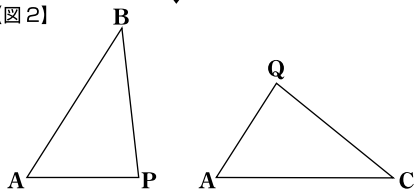
5

下の図 1 で、 $AP=AQ$ 、 $\angle APB = \angle AQC$  ならば、 $AB=AC$  であることを証明しなさい。(図 2 の中に、等しい辺や角に同じ印をつけて考えなさい。) **基本 2**

【図 1】



【図 2】



【証明】  $\triangle ABP$  と  $\triangle ACQ$  において、

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{仮定より, } \overset{\text{ア}}{\square} = \overset{\text{イ}}{\square} \quad \dots \text{①} \\ \angle \overset{\text{ウ}}{\square} = \angle \overset{\text{エ}}{\square} \quad \dots \text{②} \\ \text{共通な角だから, } \angle BAP = \angle \overset{\text{オ}}{\square} \quad \dots \text{③} \end{array} \right.$$

①, ②, ③より,  $\overset{\text{カ}}{\square}$  がそれぞれ等しいから、

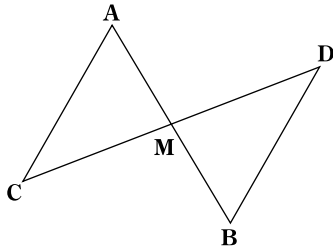
$$\triangle ABP \equiv \triangle ACQ$$

したがって、合同な図形の  $\overset{\text{キ}}{\square}$  は等しいから、

$$AB = \overset{\text{ク}}{\square}$$

6

下の図で、点 M が線分 AB, CD の中点であるとき、 $AC \parallel DB$  であることを証明しなさい。(図の中に、等しい辺や角に同じ印をつけて考えなさい。) **ステップ ③**



【証明】  $\triangle ACM$  と  $\triangle \overset{\text{ア}}{\square}$  において、

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{仮定より, } \overset{\text{イ}}{\square} = \overset{\text{ウ}}{\square} \quad \dots \text{①} \\ \overset{\text{エ}}{\square} = \overset{\text{オ}}{\square} \quad \dots \text{②} \\ \overset{\text{カ}}{\square} \text{ 角は等しいから,} \\ \angle \overset{\text{キ}}{\square} = \angle \overset{\text{ク}}{\square} \quad \dots \text{③} \end{array} \right.$$

①, ②, ③より,  $\overset{\text{ケ}}{\square}$  がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ACM \equiv \triangle \overset{\text{コ}}{\square}$$

したがって、合同な図形の  $\overset{\text{カ}}{\square}$  は等しいから、

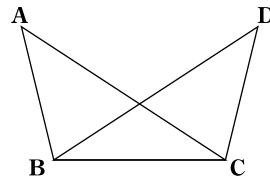
$$\angle MAC = \angle \overset{\text{セ}}{\square}$$

よって,  $\overset{\text{ソ}}{\square}$  角が等しいから,  $AC \parallel \overset{\text{タ}}{\square}$

7

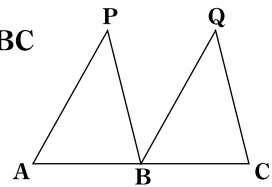
右の図で、 $AB=DC$ 、 $AC=DB$  ならば、 $\triangle ABC \equiv \triangle DCB$  である。このとき、次の問いに答えなさい。 **基本 2**

- ① 仮定と結論を書きなさい。      ② このことを証明しなさい。



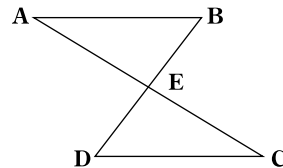
8

右の図で、点 B は線分 AC の中点で、 $PA=QB$ 、 $PA \parallel QB$  ならば、 $\triangle PAB \equiv \triangle QBC$  であることを証明しなさい。 **基本 2**



9

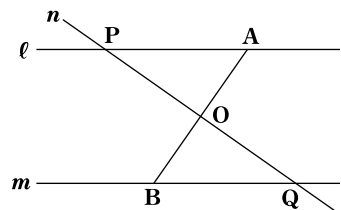
右の図で、 $AB=CD$ 、 $AB \parallel DC$  のとき、 $\triangle EAB \equiv \triangle ECD$  であることを証明しなさい。 **基本 2**



10

右の図のように、平行な 2 直線  $l$ 、 $m$  がある。 $l$  上の点 A と  $m$  上の点 B を結ぶ線分 AB の中点を O とする。点 O を通る直線  $n$  が、 $l$ 、 $m$  と交わる点をそれぞれ P、Q とするとき、 $\triangle OAP \equiv \triangle OBQ$  であることを証明しなさい。

**基本 2**

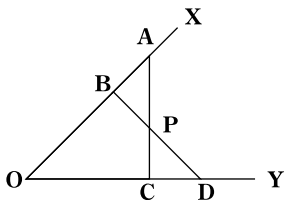


# 応用問題



さあ、チャレンジしてみよう！あきらめずに最後までトライ！

- 1** 下の図のように、 $\angle XOY$ の2辺  $OX$ ,  $OY$ 上に4点  $A$ ,  $B$ ,  $C$ ,  $D$ がある。線分  $AC$ ,  $BD$ の交点を  $P$ とし、 $OA = OD$ ,  $OB = OC$ とする。このとき、 $AP = DP$ であることを証明しなさい。



【証明】

$\triangle OAC$  と  $\triangle ODB$  において

仮定より、 $OA = \text{㉞}$  ... ①

$OC = \text{㉟}$  ... ②

共通な角だから、 $\angle AOC = \angle \text{㊱}$  ... ③

①, ②, ③より、 $\text{㊲}$  がそれぞれ

等しいから、 $\triangle OAC \equiv \triangle ODB$  ... ④

次に、 $\triangle APB$  と  $\triangle DPC$  において、

$AB = OA - OB$ ,  $DC = OD - \text{㊳}$

①, ②より、 $AB = \text{㊴}$  ... ⑤

④より、 $\angle PAB = \angle \text{㊵}$  ... ⑥

$\angle OBD = \angle OCA$  ... ⑦

また、 $\angle PBA = 180^\circ - \angle OBD$

$\angle PCD = 180^\circ - \angle \text{㊶}$

⑦より、 $\angle PBA = \angle \text{㊷}$  ... ⑧

⑤, ⑥, ⑧より、 $\text{㊸}$  がそれぞれ

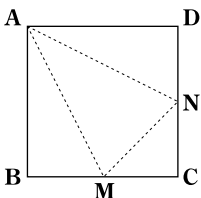
等しいから、 $\triangle APB \equiv \triangle DPC$

したがって、合同な図形の対応する  $\text{㊹}$

は等しいから、 $AP = \text{㊺}$

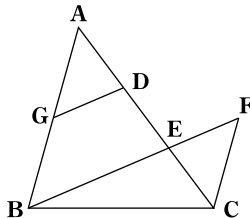
- 2** 下の図で、正方形  $ABCD$ の辺  $BC$ ,  $CD$ の中点を、それぞれ  $M$ ,  $N$ とする。このとき、次の問いに答えなさい。

- ①  $\triangle ABM \equiv \triangle ADN$ であることを証明しなさい。



- ②  $\angle AMB = x^\circ$ とするとき、 $\angle MAN$ の大きさを  $x$ の式で表しなさい。

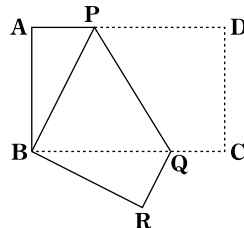
- 3** 下の図で、 $AD = CE$ ,  $AB \parallel FC$ ,  $GD \parallel BF$ である。このとき、 $AG = CF$ であることを証明しなさい。



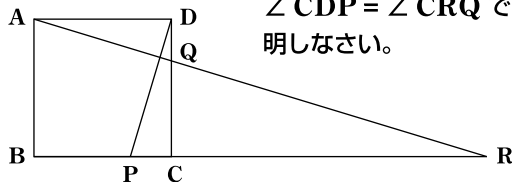
- 4** 下の図のように、長方形  $ABCD$ の紙を、点  $D$ が点  $B$ に重なるように折り返した。折り目を  $PQ$ とすると、次の問いに答えなさい。

- ①  $\triangle ABP \equiv \triangle RBQ$ であることを証明しなさい。

- ②  $\angle ABP = 40^\circ$ のとき、 $\angle PQR$ の大きさを求めなさい。



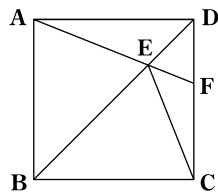
- 5** 下の図のように、正方形  $ABCD$ の辺  $BC$ ,  $CD$ 上に点  $P$ ,  $Q$ をとる。また、 $AQ$ の延長と  $BC$ の延長との交点を  $R$ とする。 $CP = DQ$ のとき、 $\angle CDP = \angle CRQ$ であることを証明しなさい。



- 6** 下の図のように、正方形  $ABCD$ の対角線  $BD$ 上に点  $E$ をとり、 $AE$ の延長と辺  $CD$ との交点を  $F$ とする。このとき、次の問いに答えなさい。

- ①  $\angle BCE = \angle AFD$ であることを証明しなさい。

- ②  $\angle DAF = 24^\circ$ のとき、 $\angle BEC$ は何度か。



- 7** 下の図で、四角形  $ABCD$ は正方形であり、点  $M$ は辺  $CD$ の中点である。また、点  $E$ は線分  $AC$ ,  $BM$ の交点である。このとき、次の問いに答えなさい。

- ①  $\triangle ADM \equiv \triangle BCM$ であることを証明しなさい。

- ② 点  $D$ と点  $E$ を結ぶとき、次のことを証明しなさい。

- 1)  $\triangle BCE \equiv \triangle DCE$       2)  $AM \perp DE$

